

ブタの眼球の解剖

令和8年6月11日（木）

6月10日（水）に3年次生理系生物選択者の「生物」の授業で、『ブタの眼球の解剖』を行いました。この実験は眼球を解剖し、各部分の形、色、大きさ、硬さなどを確かめるものです。まず、眼球のまわりの余分な肉片を取り除き、眼球から出ている視神経を確認しました。次に眼球をはさみで半分に切り分け、眼球内の構造を観察しました。最後にレンズの役割を果たす水晶体を取り出し、水晶体を通して文字や風景がどのように見えるかについて調べました。実際に眼球の内部を観察することができ、眼球の構造についてより知識が深まりました。



↑解剖させてくれた生き物（ブタ）に感謝しながら実験を進めます。



↑黙々と作業を続けます。ガラス体が飛び出て驚きましたが、水晶体は無事でした。



↑網膜が剥離している様子。黒いのは脈絡膜だということが分かりました。水晶体を取り出して新聞紙の文字を見ると、見事に文字が大きくなりました。

とされる出番（仕
所（在席）を提
と評価する。そ
間関係の築き方



↑少しずつ丁寧に切り離していきます。

【参加した生徒の声】

- ・強膜は本当に頑丈で、なかなかハサミが入らなかった。ガラス体はゼリー状で、飛び出てきてびっくりした。
- ・眼の中が「黒い」ということに驚いた！光を受容する、繊細な器官だということが分かった。
- ・実際に自分で解剖してみて、やっぱり実物を見るということはとても勉強なるし、生物の実験は面白い！